



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1982, 39(1): 64-69

ISSUE DATE:

1982-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90772>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和57年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第39巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol. 39 no. 1

物性研究

1982/10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにしてください。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“□”、イタリック“—”、ゴシック“~”、ギリシャ文字“ギ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv、†(ダガー)と+（プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

- 10-1 S.F. DA CUNHA, D.F. FRANCESCHINI, S. SENOUSI and A.Y. TAKEUCHI (CBPF-NF-007/82)
Magnetic Behavior of the Intermetallic Compound
 $\text{Ce}(\text{Fe}_{0.8}\text{Al}_{0.2})_2$
- 10-2 Nelson C. AMARAL, B. MAFFEO and Diana GUENZBURGER (CBPF-NF-008/82)
Self-Consistent Embedded-Cluster Calculations of the
Electronic Structure of Alkaline Earth Fluorides in the
Hartree-Fock-Slater Approximation
- 10-3 Aglae C.N. DE MAGALHAES, Georges SCHWACHHEIM and Constantino TSALLIS (CBPF-NF-011/82)
Triangular and Honeycomb Lattices Bond-Diluted Ising
Ferromagnet: Critical Frontier
- 10-4 C. TSALLIS, I.P. FITTIPALDI and E.F. SARMENTO (CBPF-NF-012/82)
On the Ferromagnetic Phase Breakdown of a Quenched Bond-
Mixed Ising Model
- 10-5 Constantino TSALLIS (CBPF-NF-013/82)
Critical Frontier of Anisotropic Planar Potts Ferromagnets:
A New Conjecture
- 10-6 A.Y. TEKEUCHI and S.F. DA CUNHA (CBPF-NF-016/82)
Electrical Resistivity of the Pseudo-Binary $\text{Ce}(\text{Fe}_{0.8}\text{Al}_{0.2})_2$
- 10-7 Constantino TSALLIS (CBPF-NF-020/82)
Spin-Peierls Instability in the Quasi d=1 Magnetostrictive
XY Model
- 10-8 S. ADAM, Gh. ADAM and A. CORCIOVEI (Dubna, E17-82-422)
Effective Interatomic Forces from One-Particle Crystal
Field Parameters
- 10-9 H. KONWENT and N.M. PLAKIDA (Dubna, P17-82-438)
Structural Phase Transitions in a Microscopic Model of KMnF_3
Crystal (R)

- 10-10 H. KONWENT and N.M. PLAKIDA (Dubna, P17-82-439)
Magnetic Phase Transitions in a Microscopic Model of KMnF_3 Crystal (R)
- 10-11 V.L. AKSENOV et al. (Dubna, P14-82-458)
Magnetic Exciton Line Widths in Cubic Compounds of Laves Phase PrAl_2 , PrNi_2 (R)
- 10-12 V.L. AKSENOV, W. BUHRER, Th. FRAUENHEIM, E.A. GOREMYCHKIN and E. MUHLE (Dubna, E14-82-461)
Coupled Quadrupole-Phonon Excitations: Inelastic Neutron Scattering on Van Vleck Paramagnet PrNi_5
- 10-13 A.L. KUZEMSKY, A. HOLAS and N.M. PLAKIDA (Dubna, P17-82-493)
Interaction of Tight-Binding Electrons with Phonons in Transition Metals and Their Compounds (R)
- 10-14 A. HINTERMANN and M. MANNINEN (SIN, PR-82-13)
Feasibility of Cluster Calculations in Describing Impurities in Simple Metals
- 10-15 K. VLADAR and A. ZAWADOWSKI (Budapest)
Theory of the Interaction between Electrons and the Two Level System in Amorphous Metals. II: Second Order Scaling Equations
- 10-16 K. VLADAR and A. ZAWADOWSKI (Budapest)
Theory of the Interaction between Electrons and the Two Level System in Amorphous Metals. III: Experimentally Observable Quantities
- 10-17 A.M. FIGUEIREDO NETO and L.Q. AMARAL (IFUSP/P-320)
Phase Coexistence in a Lyotropic "Nematic" Liquid Crystal of Potassium Laurate/KCl/Water
- 10-18 A.M. FIGUEIREDO NETO and L.Q. AMARAL (IFUSP/P-330)
Intermicellar Interactions in Type I Lyotropic "Nematic" Liquid Crystals
- 10-19 Kanji ISHINO and Yoshikazu SUZUMURA
Paramagnetic Susceptibility of Antiferromagnetic Superconductors in One-Dimensional Model

プレプリント案内

- 10-20 Tadashi TOYODA (Tübingen)
A Microscopic Theory of the Lambda Transition. II
- 10-21 Makio UWAHA (Illinois)
Quantum Nucleation of Solids
- 10-22 Munelaki FUJII, Hironori NISHIHARA and Akira HIRAI
Frequency Pulling of ^{51}V NMR in V_3O_7 at Ultralow Temperatures
---Coupling of Two NMR Modes
(R): Russian

ニュース

〔東京大学理学部〕

○人のうごき

9月1日 川村光氏 阪大教養 助手として転出

〔東京大学教養学部〕

○人のうごき

和達三樹助教授 ソリトン国際会議（イギリス）に出席 8月19日～8月31日

○談話会

9月7日 “Crystal Surface Structure Determined by Ion Beams” Prof. W. M. Gibson
(SUNY)

掲 示 板

原 稿 募 集

“物性研 25 周年に寄せて”

物性研究所は今年創立 25 周年を迎え、12 月にはその記念行事も行われることになっております。

4 分の 1 世紀の歴史、それは決して短いものではありません。物性研究所の存在は、物性研究者にとりいろいろな意味で大きなものであったと思います。しかし、物性研が 25 周年を迎えたときいて思い、感じることは、研究者 1 人 1 人によりさまざまなのではないのでしょうか。物性研を自分たちのものとしてその設立に尽力された方々、物性研の存在を当然のものとして育った研究者、それらの方々の考えておられること、卒直なご意見をおききしたいと思います。いわば、“あなたにとって物性研とは？”，そうしたテーマで原稿をお寄せ下さい。感想、意見、要望、思い出、なんでも結構です。投稿をお待ちします。

- (1) 題は自由におつけ下さい。
- (2) 長さ、制限ありません。ただし、一応の目安として 400 字詰 5 枚以内。
- (3) 〆切 1983 年 2 月 10 日
- (4) 投稿いただいた原稿は、原則としてすべて掲載いたします。1983 年 3 月号に掲載予定。

1982 年 11 月

物 性 研 究 編 集 部

編集後記

この頃は半導体技術の諜報事件が新聞紙上を賑わせました。応用技術分野に較べ、基礎研究部門の持つ大きな長所の1つは情報公開の原則であろうと思います。その役割を担うものとしての本誌の役割は大きいものと自負するところです。

ところでしばらく前の「物性研究」誌は原稿不足と発刊の遅れが定常化し、悩みの種でした。その後新企画等で盛返し、毎号質量共に厚みのあるものを維持出来るようになり、このところ遅れの方も少し回復してきているのは嬉しいことです。この間困難な事情の改善、打開に努力してこられた本刊行会のTさんが今月で辞められるのは大変残念ですが、後任のHさん共に我々編集委員もあとを頑張りたいと思います。

また本号からはY氏が新編集長として腕をふるわれます。読者の方々からも新企画等につき御意見をお寄せいただければ幸いです。

(T. T.)



物 性 研 究 第39巻 第1号 (昭和57年10月号) 1982年10月20日発行

発行人 長 岡 洋 介 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606 京都市百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
年額 13,200 円

編集後記

この頃は半導体技術の諜報事件が新聞紙上を賑わせました。応用技術分野に較べ、基礎研究部門の持つ大きな長所の1つは情報公開の原則であろうと思います。その役割を担うものとしての本誌の役割は大きいものと自負するところです。

ところでしばらく前の「物性研究」誌は原稿不足と発刊の遅れが定常化し、悩みの種でした。その後新企画等で盛返し、毎号質量共に厚みのあるものを維持出来るようになり、このところ遅れの方も少し回復してきているのは嬉しいことです。この間困難な事情の改善、打開に努力してこられた本刊行会のTさんが今月で辞められるのは大変残念ですが、後任のHさん共に我々編集委員もあとを頑張りたいと思います。

また本号からはY氏が新編集長として腕をふるわれます。読者の方々からも新企画等につき御意見をお寄せいただければ幸いです。

(T. T.)



物 性 研 究 第39巻 第1号 (昭和57年10月号) 1982年10月20日発行

発行人 長 岡 洋 介 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606 京都市百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
年額 13,200 円

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	3,000円
2nd volume (10月号～3月号)	3,000円
	計 6,000円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都 1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていただきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,100円、1 Vol. 6,600円、年間13,200円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 39—1 (10月号) 目 次

○均質液体の過熱破壊機構について.....	高山 光雄.....	1
○講義ノート		
結晶の成長の機構と形.....	黒田登志雄.....	7
○プレプリント案内.....		64
○ニュース.....		67
○掲 示 板		
原稿募集“物性研25周年に寄せて”.....		68
○編集後記.....		69

物 性 研 究 39—1 (10月号) 目 次

○均質液体の過熱破壊機構について.....	高山 光雄.....	1
○講義ノート		
結晶の成長の機構と形.....	黒田登志雄.....	7
○プレプリント案内.....		64
○ニュース.....		67
○掲 示 板		
原稿募集“物性研25周年に寄せて”.....		68
○編集後記.....		69